

特別活動（中学校）

自主的、実践的態度をはぐくむ「話し合い活動」の参考例

○ 「話し合い活動」の基本的な考え方

学級活動においては、学級や学校の生活の充実と向上及び生徒が当面する諸課題の解決を図る活動を行う。また、それらの活動を通して、学級や学校生活への適応と、その充実を図り、健全な生活態度を身に付け他者と共生しながら自己実現を図っていく。

学級活動における「話し合い活動」は、生徒が自分たちの生活を充実・向上させるために行う活動となる。

学習指導要領において、「話し合い活動」の充実について以下のように述べられている。

第5章—第3—2

(1)〔学級活動〕及び〔生徒会活動〕の指導については、指導内容の特質に応じて、①教師の適切な指導の下に、生徒の②自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにするとともに、内容相互の関連を図るよう工夫すること。また、③よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や④自分たちできまりをつくって守る活動、⑤人間関係を形成する力を養う活動などを充実するよう工夫すること。

② 自発的、自治的な活動は、自主的、実践的な活動を基盤として展開されるものであり、集団内における自治的な活動の経験を通して、社会性や公民性を育てる活動である。

① 集団内の好ましい人間関係に配慮しながら、人間尊重の精神に立って自治的な集団活動を営むことが必要であるが、主体的な集団運営の経験の浅い中学生段階では、集団における民主的な運営や好ましい人間関係に十分に留意した教師の指導・援助が重要である。

④ 集団の意思決定に主体的にかかわり、その決定を尊重するという活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的、実践的な態度を身に付けていく。

③ 意見の異なる人と議論して協同的に問題解決する態度を育成することや、意見の対立が生じたとき、その対立を乗り越えて問題解決をする方法を身に付けることが期待される。

⑤ 学級においては、様々な活動の中で、人間関係に問題が生じることが少なくなく、その際に人間関係の問題に適切に対応し、関係改善を図ろうとする態度を育成することが重要である。人間関係を形成する力は、学級の中の現実の人間関係を高める中で一層養われていく。

1 生徒が当面する諸課題の発見や情報の収集

○学級の諸課題の発見や情報の収集

- ・ 生活の記録，学級日誌，グループ日誌
- ・ 朝の会，帰りの会
- ・ 学級の一人一役の活動，日直の活動
- ・ 教師の声かけ，教師と生徒との対話
- ・ 保護者からの相談，教師間の情報交換など

学級の共通の問題や課題を学級全員で協力して解決することを通して，学級全体が向上することにつながる。日常の学級生活を通じて，生徒の実態を把握し，諸課題の発見や情報の収集に努めたい。

自主的，実践的な活動を通して学級や学校生活づくりを図っていくことが大切である。学級成員の共通で共通の課題を設定することが，生徒一人一人が自分のよさを発揮したり，協力して実践したりするなど，自主的，実践的な集団活動をはぐくむことになる。

「話し合い活動」の事前指導においては，学級役員で役割分担を行い，提案者や司会者と打合せを重ねながら徐々に自主的に運営できるように育てていくことが大切である。

2 「話し合い活動」のための事前指導

○議題づくりと話し合いの手順

- ・ 学級役員会（計画委員会）を実施する。（場合によっては班長会なども行う。）
- ・ 「議題」の提案理由を作成させる。
- ・ 進行について打合せを行う。（ねらい，理由，話し合いの手順など）
- ・ 必要に応じてアンケート調査を実施するなど

「話し合い活動」が自発的，自治的な活動となるためには，「議題」づくりを含めた事前活動が不可欠である。この活動を通して，学級のリーダーがよりよい学級生活の向上のための「話し合い活動」であることを自覚し，学級全体の「話し合い活動」の充実が期待できる。

3 学級全体による「話し合い活動」

○「話し合い活動」充実のための手順

- ・ 話し合いの手順を理解させる。
- ・ 問題や課題の重要性を理解させる。
- ・ 話し合いのねらいや内容を理解させる。
- ・ 原因や理由を考えさせる。
- ・ 解決策や改善策を考えさせる。
- ・ 全員の意見の統合を図るようにする。
- ・ 学級総意によって決定させる。 など

教師の適切な指導の下に，学級役員会（計画委員会）で生徒が作成した活動計画にしたがって「話し合い活動」が運営・展開されるよう支援することが大切である。「話し合い活動」を活性化するために，ブレインストーミングやディベート等を取り入れることも効果的である。

4 「話し合い活動」の事後指導

○決定したことの取組・実践

- ・ 決定したことを確認させる。
- ・ 具体的な実践計画を立てさせる。
- ・ 学級やグループ協力させ，分担して取り組ませる。
- ・ 「帰りの会」等で成果や課題等について発表させる。 など

「話し合い活動」で決定した取組みについて，学級全体が共同して積極的に実践していくよう指導・助言を行う。また，課題解決の仕方を援助したり，あるいは放課後に教育相談を行うなどして，生徒一人一人への個別の指導を行うように配慮することも大切である。